



第4回学校運営協議会が開催されました

2月6日(金)に今年度最後となる第4回の学校運営協議会が開催されました。協議会では、授業参観や学校関係者評価、来年度の学校運営の基本方針の概要説明、学校運営協議会の自己評価について熟議しました。

学校関係者評価については、浅井主幹教諭から児童、保護者、教員の3者にアンケートを行った結果の報告がありました。これは、学校教育目標のもと「学び合う子、認め合う子、高め合う子」を育てるために実施した様々な教育活動の内容について目標が達成できているかを確認したものです。



来年度の学校運営の基本方針については、校長先生から説明があり、全員一致で承認されました。めざす学校像「明日、また来たくなる学校」について活発な意見交換が行われ、地域、保護者、学校が取り組んでいくことを確認しました。また、学校運営協議会の自己評価においては、今年度の取組状況を振り返り、今後も地域とともにある学校づくりを進めていくことを確認しました。

詳しいことは、可美小学校ホームページに会議録が掲載されていますのでご覧ください。

学校運営協議会は、開かれた会議で、どなたでも傍聴できます。

【学校関係者評価】

学びあう子(知) 自分の考えをもって主体的に学び、友達と一緒に深め合う子

9割の子どもが「楽しく授業に参加していて、授業理解ができている」と答えているが、それ以外の子にどう向き合っていくか研修していきたい。



認め合う子(徳) やさしさや思いやりの気持ちを持ち、互いに協調し支え合う子

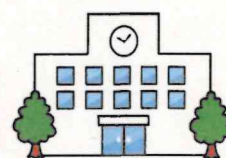
「安心して学校生活を送っている」と答えた子が多い。言葉遣い、挨拶は全校で意識して取り組めた。

高め合う子(体) 健康・安全への意識を高め、目標に向かって粘り強く取り組む子

「進んで外遊びをしている」「好き嫌いなく食事をしている」についての評価が低かった。学校と家庭と連携しながら取り組んでいきたい。

【学校運営の基本方針】

【学校教育目標】 美しい心で ともに未来に向かって輝く子
【めざす学校像】 明日、また来たくなる学校



学ぶ楽しさがわかり、
自分らしさを発揮で
きる学校

子どもたちの居場所
があり、安全・安心で
心温まる学校

保護者や地域に関か
れた信頼される学校

来年度のグランドデザインに基づいて、校長先生から説明があり、委員から以下の発言がありました。



たくましくしなやかな子に育てるのは親がキーとなる。親の理解、親が責任を持つ。学校の方針と家庭の方針がうまく合うとよい。

我が子は失敗するのが嫌。でも、できるようになると自信になる。失敗して学ぶこともある。



子どもは、失敗しながら解決することを学んでいく。学ばないといつまでも子どものままで大人になったとき困ることがあるかもしれない。

なんでも手厚くしすぎると、大人になって失敗したとき、まわりや社会のせいになってしまうかもしれない。



きめ細かな対応をすればするほど教員の数が必要になる。でも、現実には難しい。

小学校の先生や子どもたちがやりたいことをもっとCS委員や地域に知らせる機会があるとよい。



【学校運営協議会の自己評価による来年度の目標】

今年度の取組状況を振り返り、来年度の目標を設定しました。

- ボランティア等、地域社会との連携による学校支援体制の拡充
- グランドデザイン「美しい心でともに未来に向かって輝く子」の実現に向けての熟議を進めていく。

【学校運営協議会委員退任のお知らせ】

今年度で山本浩司さんが委員を退任されます。子ども達のために何ができるか…熱心な熟議をありがとうございました。